

- ・ 高次脳機能障害者の就労と神経心理学的検査成績との関係 判別分析を用いた検討。澤田梢, 橋本優花里, 近藤啓太, 丸石正治.高次脳機能研究(1348-4818)30 卷 3 号 Page439-447
- ・ 丸石正治: 広島県における脳機能障害者支援の現状—就労支援の視点から—。MB Med Reha 119: 31-36,2010
- ・ 丸石正治: 高次脳機能障害支援の進展と課題;在宅期に着目して。OT ジャーナル 44: 1000-1004, 2010
- ・ 丸石正治: 回復期以後における半側空間無視へのアプローチ。臨床リハ 19: 1030-1036, 2010
- ・ 脳卒中医療連携推進専門委員会 平成 21 年度 脳卒中医療連携推進専門委員会報告書(解説)松本昌泰, 阿部直美, 磯部尚幸, 市本一正, 大田泰正, 沖田一彦, 加世田ゆみ子, 木矢克造, 栗栖薫, 黒木一彦, 小島隆, 高木節, 津山順子, 豊田章宏, 野村栄一, 林拓男, 檜谷義美, 堀江正憲, 丸石正治, 森下浩子, 山下拓史, 山田敦夫, 勇木清, 広島県地域保健対策協議会脳卒中医療連携推進専門委員会.広島医学(0367-5904)63 卷 12 号 Page795-804
- ・ Keita Kondo, Masaharu Maruishi, Hiroki Ueno, Kozue Sawada, Yukari Hashimoto, Tomohiko Ohshita, Tetsuya Takahashi, Toshiho Ohtsuki, and Masayasu Matsumoto. The pathophysiology of prospective memory failure after diffuse axonal injury- lesion-symptom analysis using diffusion tensor imaging. BMC Neuroscience, 11:147, 2010

## 2. 学会発表

- ・ 高次脳機能障害者の就労に関わる神経心理学的検査の検討 新規就労者と非就労者の比較(会議録)Author: 澤田梢, 橋本優花里, 丸石正治
- ・ Recognition of Six Basic Emotions from Facial Expression After Traumatic Brain Injury- Explore Study. Y. Hashimoto<sup>1</sup>, K. Sawada<sup>2</sup>, R. Mitsuto<sup>2</sup>, H. Yoshida<sup>3</sup>, & M. Maruishi<sup>4</sup>
- ・ 高次脳機能障害患者の表情認識能力に関する研究 (2) 橋本優花里<sup>1</sup>・光戸利奈<sup>2</sup>・澤田梢<sup>2</sup>・丸石正治<sup>3</sup>・吉田弘司<sup>4</sup>
- ・ 福田奈津子 川原薫、丸石正治。当センターにおける高次脳機能障害者の自動車運転評価の試み。第 31 回中国四国リハビリテーション地方会
- ・ 林加代、川原薫、丸石正治。失語症患者の社会的活動の場を増やすことを目的とした小グループの実践。第 31 回中国四国リハビリテーション地方会
- ・ Masaharu Maruishi, M.D., Ph.D.<sup>\*</sup>, Takashi Nakao, Ph.D.<sup>\*\*</sup>, Makoto Miyatani, Ph.D.<sup>\*\*</sup>. Impaired self-awareness in diffuse axonal injury; a functional magnetic resonance imaging study.

## G. 知的財産権の出願・登録

特になし

厚生労働科学研究費補助金（地域生活支援の推進に関する研究事業）

（分担）平成 22 年度研究報告書

高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究

研究分担者 蜂須賀 研二 産業医科大学リハビリテーション医学講座・教授

研究要旨：①九州各県で高次脳機能障害支援を推進するために、九州各県から 12 名の九州ブロック委員を選任し、行政担当者と合同でブロック会議を開催した。ブロック会議には、ブロック委員、支援コーディネーター、行政担当者などが参加して、各県における研修会の内容、地域生活支援体制や支援実施状況等を報告し討論した。九州地区では 13 箇所の支援拠点機関を中心として、支援コーディネーターは（一部、医師や担当者を含む）20 名が配置され、相談件数は電話 2,354 件、来所 2,123 件、メール・書簡 166 件、その他 225 件であり、合計すると 6,421 件であった。また、各県内で主催した連絡会や協議会は 26 回、参加者 405 人であり、研修会や研究会は 26 名、参加者は 3,175 人であった。②産業医科大学では高次脳機能障害者の地域生活支援の一環として、a) 身体障害者手帳および精神障害者保健福祉手帳に基づく高次脳機能障害者数の追加調査を実施し、平成 19-20 年度実施分と合わせて中等度から重度の高次脳機能障害者数は 9.9 人/人口 10 万人と推定、b) 社会復帰準備のためのリハビリテーション学級を 10 回開催、c) 長時間の注意持続評価法として健常者 8 名の P300 の振幅変化を検討、d) 簡易神経心理検査 (Mini-Mental State Examination, Trail Making Test, Wisconsin Card Sorting Test 慶應版) の青年正常値を設定、e) 左右中央への注意配分課題を追加した簡易自動車運転シミュレーションの標準値を設定し、9 名の外傷性脳損傷患者の評価指導を行った。

A. 研究目的

九州各県内に少なくとも 1 名のブロック委員を任命し、支援コーディネーターと協力して高次脳機能障害支援システムを確立させ、各種相談や連絡会・協議会および研修会・研究会を開催し、より適切な支援活

動を行うこと、また、産業医科大学では高次脳機能障害支援に直接関係する臨床研究を実施して、その結果を高次脳機能障害支援推進に活用するとともに、広く成果を公表して高次脳機能障害者および家族に還元することを目的とした。

## B. 研究方法

九州各県を代表する医療関係者にブロック委員を依頼し、ブロック委員は行政担当者、支援コーディネイターと協力して地域生活支援推進と体制構築を図る。また、ブロック委員、行政担当者、支援コーディネイターが合同で開催する九州ブロック会議に参加して、それぞれの県における高次脳機能障害地域支援体制や実施状況に関する情報を交換し、相互に進捗状況や実施状況を確認し、支援推進と体制構築に役立てる。年度末にブロック委員および支援コーディネイターからの活動報告を基に集計する。

産業医科大学で実施した高次脳機能障害に関する臨床研究の方法は以下の通りである。

### a) 高次脳機能障害者数の追加調査

北九州市障害福祉センターおよび精神保健福祉センターにて、高次脳機能障害の受傷（発症）年月日が 2007 年 7 月 1 日から 2008 年 5 月 31 日、受傷（発症）年齢が 6 歳から 69 歳、原因疾患が外傷性脳損傷、脳血管障害（特に、クモ膜下出血）、脳炎後遺症、低酸素性脳症などである者を、診断書の記載に基づき抽出した。

### b) 社会復帰準備のためのリハビリテーション学級

水曜日の午後、約 2 時間 30 分の設定で 10 回、意欲の向上、障害理解の促進、社会技能向上などを目的とした集団訓練を実施した。内容は、スタッフが交代ではじめに話題提供の挨拶、医師による小講義、臨床心理士による社会技能訓練、人と人との関係を重視したレクリエーションとした。

### c) 長時間の注意持続評価

長時間の注意持続を評価する方法として、750 回刺激による聴覚オドボール課題の事象関連電位測定を実施した。健常者 8 名に測定を実施して P300 の振幅変化を検討した。

### d) 簡易神経心理検査の標準値設定

外傷性脳損傷による高次脳機能障害患者は脳卒中患者に比して若い者が多く、20 歳および 30 歳代の標準値がないのが現状である。そこで 15 歳から 30 歳の健常者 117 名を対象として、簡易神経心理検査としてしばしば使用される Mini-Mental State Examination, Trail Making Test, Wisconsin Card Sorting Test 慶應版を実施し、青年正常値を設定することにした。

### e) 簡易自動車運転シミュレーションの標準値

簡易自動車運転シミュレーションはこれまで 202 名の健常者に実施して標準値を設定し、高次脳機能障害者の自動車運転再開の判定指針として用いてきた。実際の路上運転では左右中央への注意配分が安全確保には必須であるので、今回、新たに左右中央への注意配分を要する課題を追加した簡易自動車運転シミュレーションを作成して、63 名の健常者で標準値を設定し、9 名の外傷性脳損傷患者の評価を実施して運転再開の指導を行った。

## C. 研究結果

### 1. 九州ブロックの研究成果

#### 1) 九州ブロック会議

厚生労働省「高次脳機能障害者の地域生活支援」研究班の趣旨に従い、昨年に引き続き

各県 1 名(佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)、高次脳機能障害のリハを実践している代表的立場の医師にブロック委員を依頼した。なお、福岡県は高次脳機能障害支援モデル事業に参加した拠点機関の 3 名をブロック委員、1 名をオブザーバーとし、さらに事務局委員を 2 名とした。全体としてブロック委員は 12 名とした。

福岡県:

- ・北九州市 産業医科大学リハ医学講座・教授 蜂須賀研二
- ・福岡市 福岡市立心身障がい福祉センター・課長 永吉美砂子
- ・筑後地区 久留米大学脳神経外科・教授 重森稔
- ・福岡県域 福岡県身体障害者リハセンター・次長 中西思郷(オブザーバー)

佐賀県:佐賀大学・教授 浅見豊子

長崎県:長崎大学・教授 松坂誠應

熊本県:熊本大学精神科・助教 橋本 衛

大分県:諏訪の杜病院・院長 武居光雄

宮崎県:宮崎大学・教授 帖佐悦男

鹿児島県:鹿児島大学大学院・教授

浜田博文

沖縄県:ちゅうざん病院・院長 今村義典

#### 【事務局委員】

産業医科大学リハ医学 講師 岡崎哲也

産業医科大学病院 高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子

#### 【事務局】

産業医科大学リハビリテーション医学講座

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘  
1-1 Tel 093-691-7266

平成 22 年度厚労省科研費研究班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会議

日程:平成 22 年 7 月 30 日 吉塚合同庁舎

参加者 48 名

#### (1)「高次脳機能障害の全国調査」

国立リハビリテーションセンター・学院長  
中島八十一

#### (2)「高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究」

諏訪の杜病院・院長 武居光雄

#### (3)「各県の取り組み状況」

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の支援コーディネーターが各県における研修会の開催、地域生活支援や実施状況等に関して報告した。全ての県に支援拠点機関が開設され、支援コーディネーターが配置され、支援体制は整いつつあり、今後は支援内容や提供できるサービスの質を向上させる必要がある。

#### 2)九州地区の活動の概要

本年度で九州全県に少なくとも 1 カ所以上の高次脳機能障害支援拠点機関が設置され合計 13 カ所となった。高次脳機能障害支援コーディネーターは各機関に 1 名以上配属され、合計 20 名であった。

相談件数は相談件数は電話 2,354 件、来所 2,123 件、メール・書簡 166 件、その他 225 件であり、合計すると 6,421 件であった。また、各県内で主催した連絡会や協議会は 26 回、参加者 405 人であり、研修会や研究会は 26 名、参加者は 3,175 人であり、昨年よりもより多くの支援活動を実施した。

各県の高次脳機能障害支援拠点機関と支援コーディネーター(含む担当医、担当者)を

下記に示す。

## 福岡県

- 福岡県身体障害者リハビリテーションセンター  
〒811-3113 古賀市千鳥3-1-1  
TEL 092-944-1041  
下濱和義(社会福祉士)  
山崎和歌子(支援員)
- 産業医科大学病院  
〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1 TEL 093-603-1611(代)  
甲斐明子(臨床心理士)  
上原純子(臨床心理士)
- 久留米大学病院脳神経外科  
〒830-0011 福岡県久留米市旭町67  
TEL 0942-35-3311(代)  
弥吉江理奈(精神保健福祉士)
- 福岡市立心身障がい福祉センター(あいあいセンター)  
〒810-0072 福岡市中央区長浜1-2-8  
TEL 092-721-1611  
和田明美(理学療法士)

## 佐賀県

- 佐賀大学医学部附属病院  
〒849-8501 佐賀市鍋島 5-1-1  
TEL 0952-34-3285  
浅見豊子(医師)

## 長崎県

- 長崎こども・女性・障害者支援センター  
障害者支援部 更生相談課 地域支援班  
〒852-8114 長崎市橋口町10-22  
TEL 095-844-5132  
井手敦郎(社会福祉士)

## 熊本県

- 熊本大学医学部附属病院神経精神科

## 熊本県高次能機能障害者支援センター

熊本市本荘1-1-1

専門ホットライン 096-272-5784

田中希(精神保健福祉士)

## 大分県

- 社会福祉法人 農協共済別府リハビリテーションセンター  
〒874-0840 大分県別府市鶴見1026-10  
TEL 0977-67-1711(代)  
佐藤博文(社会福祉士)
- 医療法人 光心会 諏訪の杜病院  
〒870-0945 大分県大分市津守888-6  
TEL 097-567-1277(代)  
浅倉恵子(作業療法士)

## 宮崎県

- 宮崎県身体障害者相談センター  
〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島 1-1-2  
TEL 0985-29-2556  
満尾昭彦/落合恭芳(一般行政職)

## 鹿児島県

- 鹿児島県高次脳機能障害者支援センター  
〒890-0065 鹿児島市郡元 3-3-5  
TEL 099-252-3366  
尾上佳代子(保健師)

## 沖縄県

- 沖縄リハビリテーションセンター病院 高次能ダイケア  
沖縄県沖縄市比屋根2-15-1  
鈴木里志(作業療法士)  
平良 淳子(精神保健福祉士)
- 医療法人へいあん 平安病院 地域医療部 医療相談係  
〒901-2553 沖縄県浦添市字経塚346番地

TEL 098-877-6467(内線230・237)

波平智雄(医師)

赤嶺洋司(臨床心理士)

新垣香織(精神保健福祉士)

伊井統章(精神保健福祉士)

### 3)各県の活動成果の報告

各拠点機関では各地の状況に応じて、下記に示す活発な活動が行われた。

#### 福岡県

##### 【支援拠点機関名】

福岡県身体障害者リハビリテーションセンター

##### 【支援コーディネーター】

下濱和義(社会福祉士)

山崎和歌子(支援員)

##### ◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計	96件
電話	73件
来院／来所	22件
メール・書簡	1件
その他(訪問・出張・同行等)	0件

##### ◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計	78件
電話	63件
来院／来所	12件
メール・書簡	0件
その他(訪問・出張・同行等)	3件

##### 【主催した連絡会・協議会】

- 第1回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会  
平成22年7月30日(金)  
吉塚合同庁舎 特A会議室  
参加者32名(オブザーバー含む)
- 第2回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

平成23年1月26日(水)

吉塚合同庁舎 特5会議室

参加者28名(オブザーバー含む)

##### 【主催した研修事業】

##### 1. 高次脳機能障害講演会

平成22年12月23日(木)

クローバープラザ(クローバーホール)

「高次脳機能障害と脳のリハビリについて」

講師：中島 恵子氏(帝京平成大学教授)

参加者320名

##### 2. 高次脳機能障害支援実践セミナー

(行政関係者編)

平成23年1月12日(水)

クローバープラザ(508AB 研修室)

「高次脳機能障害支援事業について」

「高次脳機能障害の理解について」(講演)

「高次脳機能障害相談支援の紹介」

参加者98名

##### 3. 高次脳機能障害支援実践セミナー

(医療・福祉等従事者編)

平成23年2月23日(水)

クローバープラザ(クローバーホール)

「高次脳機能障害者への生活支援」(講演)

「当事者・家族からの話」

「高次脳機能障害相談・支援事例の紹介」

参加者188名

【主催したケース会議,勉強会,研究会,家族会,交流会等】

- 第1回ネットワーク会議  
平成22年4月15日(木) 県庁会議室 10名
- 第2回ネットワーク会議  
平成22年6月3日(木) 県庁会議室 8名
- 第3回ネットワーク会議  
平成22年10月20日(火) 県庁会議室 8名
- 第4回ネットワーク会議

平成 23 年 3 月 予定

【協力した会合】

1. 福岡県相談支援従事者現任研修(講師派遣)

平成 22 年 7 月 26 日(月)

福岡県吉塚合同庁舎

2. 第12回「なぞの会」研修会(講師派遣)

平成 23 年 3 月 12 日(土)

宗像水光会総合病院 地域交流室

【活動内容】

◇広報・啓発

専門相談ホットラインによる相談受付

家族支援相談会の開催(月1回)

「リーフレット」作成準備中

市区町村・相談支援事業所・回復期リハ  
病院等を訪問し施設紹介、高次脳機能  
障害のリーフレットの配布

◇自立訓練(生活訓練、定員6名)

現在11名利用

◇その他

高次脳機能障害支援事業関係職員研修  
会参加

【事業課題】

・生活訓練における支援、および訓練終了  
後の生活について関係機関との連携

・小児・重度の高次脳機能障害者への支援

・相談者への支援に対する関係機関との連  
携、調整

福岡県

【支援拠点機関名】

産業医科大学病院

【支援コーディネーター】

甲斐明子(臨床心理士)

上原純子(臨床心理士)

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計 269 件

電話 57 件

来院／来所 209 件

メール・書簡 0 件

その他(訪問・出張・同行等) 3 件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計 142 件

電話 127 件

来院／来所 10 件

メール・書簡 2 件

その他(訪問・出張・同行等) 3 件

【主催した連絡会・協議会】

1. 合同会議:平成22年度厚労省科研費研究  
班九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担  
当者会議(行政関係者)を開催

1)第1回厚労省科研費研究班九州ブロック会  
議・高次脳機能障害支援当者会議(行政  
関係者)

平成 22 年 7 月 30 日 吉塚合同庁舎

参加者 48 名

(1)「高次脳機能障害の全国調査」

国立リハビリテーションセンター

学院長 中島八十一

(2)「高次脳機能障害の地域生活支援の推  
進に関する研究」

諏訪の杜病院 院長 武居光雄

(3)「各県の取り組み状況」

福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本  
県、鹿児島県、沖縄県、宮崎県より

2)第1回厚労省科研費研究班九州ブロック支  
援コーディネーター会議

平成 22 年 7 月 30 日 吉塚合同庁舎

参加者14名

(1)各県の取り組みの発表及び意見交換

(2)「リハビリテーション概論」

産業医科大学リハビリテーション医学講座

岡崎哲也

2. 福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

1) 第1回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

平成22年7月30日 吉塚合同庁舎

2) 第2回高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会

平成23年1月26日 吉塚合同庁舎

3. 福岡県高次脳機能障害支援ネットワーク会議への参加

1) 第1回ネットワーク会議

平成22年4月15日 福岡県庁

2) 第2回ネットワーク会議

平成22年6月3日 福岡県庁

3) 第3回ネットワーク会議

平成22年10月19日 福岡県庁吉塚合同庁舎

4) 第4回ネットワーク会議

平成23年3月 福岡県庁吉塚合同庁舎

【主催した研修事業】

1. 産業医科大学リハビリテーション講習会の開催

1) 第12回産業医科大学リハビリテーション講習会

平成23年2月5日 産業医科大学ラマツィーニホール

参加者 71名

(1) 特別講演

座長: 産業医科大学リハビリテーション医学講座 教授 蜂須賀研二

「高次脳機能障害者の社会復帰準備のための“リハビリテーション学級”の意義」

肥前精神医療センター 精神科医長 橋本学

「三重県での高次脳機能障害に対する経験」

藤田保健衛生大学 医療科学部教授 太田

喜久夫

(2) シンポジウム

座長: 産業医科大学リハビリテーション医学講座 講師 岡崎哲也

北九州市障害福祉センター 地域リハ当係長

天野賢治

司会: 北九州市保健福祉局障害福祉部障害福祉課 主査 安部

「高次脳機能障害者の社会参加の実際」

北九州市障害福祉センター 片山充

北九州障害者しごとサポートセンター 石崎博之

春ヶ丘学園 馬郡幸治

【協力した会合】

1. 福岡県高次脳機能障害支援事業

1) 高次脳機能障害支援実践セミナー

(1) 行政関係者編

平成23年1月12日 クローバープラザ 98名

① 「高次脳機能障害支援事業について」

福岡県保健医療介護部健康増進課精神保健係 技術主査 原野京子

② 「高次脳機能障害者の理解について」

産業医科大学リハビリテーション医学講座

岡崎哲也

③ 「高次脳機能障害相談支援の紹介」

産業医科大学病院高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子

(2) 医療・福祉等従事者編

平成23年2月23日 (予定) クローバープラザ

① 高次脳機能障害者への支援」

産業医科大学リハビリテーション医学講座

岡崎哲也



②「高次脳機能障害者の事例紹介」

産業医科大学病院高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子

2)福岡県高次脳機能障害支援事業 高次脳機能障害講演会

平成 22 年 12 月 23 日クローバープラザ 320 名

「脳のリハビリ」

帝京平成大学健康メディカル学部臨床心理学科 教授 中島恵子

2. 北九州市高次脳機能障害研修会

1)平成 22 年度高次脳機能障害支援者研修会

平成 22 年 11 月 26 日 北九州市総合保健福祉センター

「高次脳機能障害者の家族への支援」

神奈川リハビリテーション病院医療福祉総合相談室 室長 生方克之

「高次脳機能障害支援コーディネーターの紹介」

産業医科大学病院高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子

「障害福祉センターでの高次脳機能障害者支援」

北九州市立障害福祉センター

2)北九州市自立支援協議会

平成22年12月11日 ウェルとばた

「だれもが普通に働ける社会をめざして

～発達・高次脳機能障害のある人の一般就労を応援する研修会～」産業医科大学病院高次脳機能障害支援コーディネーター 甲斐明子(パネリストとして)

3. ケース会議

1)A 氏の就労支援会議

2)B 氏の就労支援会議

4. 外来通院中の患者について、医師・産業療法士・障害者職業カウンセラー、ジョブコーチ、会社関係者とのカンファレンスを適宜開催

5. 北九州市障害者地域生活支援

1)第1回障害者ケアマネジメントを円滑に進めるための相談支援マニュアル(DVD)制作委員会

平成22年9月より月 1 回開催 ウェル戸畑 10 名

【活動内容】

1. 社会復帰準備のための高次脳機能障害リハビリテーション学級の開催

2. 神経心理の評価(コーディネーター実施分、平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月)

・RBMT 行動記憶検査36件、BADS 17件

3. 院内外傷性脳損傷リハビリテーションカンファレンスの開催

4 月～3 月 月 1 回 計 12 回

【事業課題】

1. 児童・生徒の復学支援が増えている。標準化された評価法が乏しく、成人の復職支援と異なったアプローチも必要と感じている。学校、地域との連携強化を図る必要がある。

2. 高次脳機能障害という言葉が広く知られるようになったことから、診断基準に合致しない患者の受診が増えた。精神心理的要因や神経変性疾患など関連領域の知識習得にも努めるとともに、精神科等他科とのより緊密な連携が必要となっている。

3. 社会復帰に極めて重要な社会的技能を高めるために集団訓練が有用であるが、制度上医療機関での継続的施行が困難である。地域での支援の一環として福祉・行政機関での集団訓練施行が必要と考える。

## 福岡県

### 【支援拠点機関名】

久留米大学病院

### 【支援コーディネーター】

弥吉江理奈(精神保健福祉士)

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

(平成22年4月1日～平成23年3月11日)

合計 242件

電話 100件

来院／来所 142件

メール・書簡 0件

その他(訪問・出張・同行等) 0件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

(平成22年4月1日～平成23年3月11日)

合計 79件

電話 68件

来院／来所 2件

メール・書簡 6件

その他(訪問・出張・同行等) 3件

### 【協力した会合】

1.福岡県高次脳機能障害支援事業研修会

1)高次脳機能障害講演会

平成22年12月23日 クローバープラザ

2)高次脳機能障害支援実践セミナー

(行政関係者編)

「高次脳機能障害相談支援の紹介」

平成23年1月12日 クローバープラザ

3)高次脳機能障害支援実践セミナー

(医療・福祉等従事者編)

「高次脳機能障害者への支援事例の紹介」

平成23年2月23日 クローバープラザ

2. 合同会議:平成22年度厚労科研費研究班

九州ブロック会議・高次脳機能障害支援担当

者会議への参加

1)平成22年度第1回厚労科研費研究班九州  
ブロック会議・高次脳機能障害支援担当者会  
議

平成22年7月30日 吉塚合同庁舎

2)九州ブロック高次脳機能障害支援コーディネーター会議

平成22年7月30日 吉塚合同庁舎 14名

3. 高次脳機能障害相談支援体制連携調整  
委員会への参加

1)第1回高次脳機能障害相談支援体制連携  
調整委員会

平成22年7月30日 吉塚合同庁舎

2)第2回高次脳機能障害相談支援体制連携  
調整委員会

平成23年1月26日 吉塚合同庁舎

4. 支援コーディネーター全国会議への参加

1)第1回支援コーディネーター全国会議

平成22年6月29日 国立障害者リハビリテー  
ションセンター学院

2)第2回支援コーディネーター全国会議

平成23年2月24日 全国町村議員会館

5. ネットワーク会議への参加

1)第1回ネットワーク会議

平成22年4月15日 福岡県庁 10名

2)第2回ネットワーク会議

平成22年6月3日 福岡県庁 8名

3)第3回ネットワーク会議

平成22年10月19日 福岡県庁 8名

6. その他

1)平成22年度障害者相談支援事業・広域事  
業連絡会議

平成23年2月15日 福岡県庁

### 【活動内容】

◇広報・啓発:リーフレット及び社会資源名簿  
の配布

◇診断評価

(相談,診察,諸検査,診断及び支援計画会議):

新規 16名

◇リハビリ:毎週水曜日 PM のリハビリ参加者:

20名

【事業課題】

・評価及び診断後の継続した支援(再評価など)

・若年層の高次脳機能障害者への就労・就学支援

・精神科領域の既往歴(発達障害など)がある方への支援

・県外からの相談への対応と支援

福岡県

【支援拠点機関名】

福岡市立心身障がい福祉センター  
(あいあいセンター)

【支援コーディネーター】

和田明美(理学療法士)

◇当事者/家族からの直接相談のべ件数

(平成22年4月1日~23年2月28日)

合計	213件
電話	115件
来院/来所	51件
メール・書簡	9件
その他(訪問・出張・同行等)	38件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

(平成22年4月1日~23年2月28日)

合計	141件
電話	126件
来院/来所	10件
メール・書簡	1件
その他(訪問・出張・同行等)	4件

【主催したケース会議,勉強会,研究会,家族会,

交流会等】

1・家族会 月1回 あいあいセンター  
リハビリ実施中の方の家族への勉強会・懇談会 3~10名/回

2・就労グループ あいあいセンター  
相談者やリハビリ修了者で就労している方の懇談会

第1回 平成22年7月17日 11名

第2回 平成23年2月19日 9名

【協力した会合】

1. 連絡会・協議会参加

1)福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会参加

・第1回 平成22年7月30日

吉塚合同庁舎 32名

・第2回 平成23年1月26日

吉塚合同庁舎

2)福岡県高次脳機能障害支援ネットワーク会議参加

第1回 平成22年4月15日福岡県庁 10名

第2回 平成22年6月3日 福岡県庁 8名

第3回 平成22年10月19日 吉塚合同庁舎 8名

3)厚労科研費研究班九州ブロック会議参加  
平成22年7月30日 吉塚合同庁舎 48名

4)九州ブロック支援コーディネーター会議参加

平成22年7月30日 吉塚合同庁舎 14名

5)支援コーディネーター全国会議

第1回 平成22年6月29日

国立障害者リハビリテーションセンター

第2回 平成23年2月24日

全国町村議員会館

6)第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会及び厚生労働科学研究費「高次脳機

- 能障害者の地域生活支援の推進に関する研究」第2回全体会議
2. 福岡県高次脳機能障害支援事業研修会への参加
- 1) 高次脳機能障害講演会「高次脳機能障害と脳のリハビリ」  
平成22年12月23日 クローバープラザ 320名
- 2) 高次脳機能障害支援実践セミナー(行政関係者編)  
平成23年1月12日 クローバープラザ 98名
- 3) 高次脳機能障害支援実践セミナー(医療・福祉等従事者編)  
平成23年2月23日 クローバープラザ 188名
3. その他研修への講師派遣及び参加
- 1) 講師派遣
- ・福岡翼の会講演会  
「高次脳機能障害いと家族のかかわり方」  
永吉美砂子  
平成22年5月15日 あいあいセンター 125名
  - ・福岡市障がい者就労支援センター職場研修  
「高次脳機能障害について」 和田明美  
平成22年8月6日  
福岡市就労支援センター 19名
  - ・ホームヘルパースキルアップ研修  
「高次脳機能障害の理解と対応」 和田明美  
平成22年9月3日  
福岡市市民福祉プラザ 18名
  - ・きょうされん全国大会特別分科会  
「高次脳機能障害」 和田明美  
平成22年10月23日
  - 福岡国際会議場 50名
  - ・福岡市新規職員研修  
「高次脳機能障害について」 和田明美  
平成22年11月4日  
福岡市市民福祉プラザ 31名
  - ・社会福祉施設役職員・障害者施設職員研修  
「高次脳機能障害を持つ人への理解と支援」和田明美  
平成22年12月17日  
クローバープラザ 70名
  - ・清水ワークプラザ職場研修  
「高次脳機能障害について」和田明美  
平成23年1月21日  
清水ワークプラザ 10名
  - ・福岡市障がい者スポーツセンター障がい者基礎講座  
「脳血管障害、高次脳機能障害について」  
和田明美  
平成23年1月29日  
福岡市障がい者スポーツセンター 25名
  - ・久留米・筑後地区作業療法士勉強会  
「高次脳機能障害者に対する支援」  
和田明美  
平成23年2月9日  
石橋文化センター 48名
  - ・大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会  
「高次脳機能障害者の生活訓練の実際」  
永吉美砂子、「地域での生活支援について」 和田明美  
平成23年3月13日  
アイネス 161名
  - ・ジョブコーチ支援事業推進協議会  
「高次脳機能障害の特性および就労支援について」 和田明美

平成 23 年 3 月 23 日

福岡障害者職業センター 25 名

2) 学会発表

- ・九州理学療法士・作業療法士合同学会

「高次脳機能障害に対する支援状況 3 年間の新規相談の分析を通して」 和田明美

平成 22 年 11 月 27 日

沖縄コンベンションセンター

3) 研修会参加

- ・福岡市障がい者就労支援ネットワーク定例会

平成 22 年 4 月 28 日、6 月 8 日、9 月 9 日

福岡市障がい者スポーツセンター

- ・朝日厚生事業団「高次脳機能障害を理解する」

平成 22 年 7 月 18 日

明治安田生命ホール

- ・「自動車事故による遷延性意識障害のための在宅介護支援セミナー」

平成 22 年 8 月 29 日

福岡県中小企業振興センター

- ・理学療法士会講習会「脳外傷者に対する理学療法」

平成 22 年 9 月 4 日、5 日

神奈川リハビリテーション病院

- ・柳川リハビリテーション病院創立 20 周年シンポジウム「高次脳機能障害に対するリハビリテーション」

平成 22 年 10 月 17 日

柳川リハビリテーション学院

- ・平成 22 年度障害者相談支援事業・広域事業連絡会議

平成 23 年 2 月 15 日

福岡県庁

4) その他

- ・福岡翼の会への連携・支援

平成 22 年 5 月 15 日総会、9 月 23 日

合同交流会参加

- ・脳外傷友の会第 10 回全国大会 in なら参加

平成 22 年 6 月 25 日、26 日

【活動内容】

- ・医療と自立訓練にて通所による診断評価・リハビリテーションを実施

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日

までの在籍者 63 名、延べ訓練件数 1985 件

【事業課題】

- ・関係機関との連携による途切れない支援の流れ作り

- ・地域で利用できる社会資源の掘りおこしと整理

- ・自立支援法のサービスが利用できない人への支援の検討

- ・リハビリテーションの対象にならない人への支援の拡充

佐賀県

【支援拠点機関名】

佐賀大学医学部附属病院

【支援コーディネーター】

浅見豊子(医師)

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計 616 件

電話 24 件

来院／来所 592 件

メール・書簡 0 件

その他(訪問・出張・同行等) 0 件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計 32 件

電話 20 件

来院／来所 12 件

メール・書簡 0 件

その他(訪問・出張・同行等) 0件

【主催した連絡会・協議会】

平成22年度佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会

1)平成22年度第1回佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会

平成22年6月28日、佐賀県庁  
(参加者18名)

2)平成22年度第2回佐賀県高次脳機能障害者支援推進委員会

平成23年3月9日、佐賀県庁  
(参加者15名)

【主催した研修事業】

平成22年度高次脳機能障害リハビリテーション講習会

1)第1回(参加者165名)

平成22年12月20日:メートプラザ佐賀  
「高次脳機能障害の基本的知識と社会参加について」

国立障害者リハビリテーションセンター学院  
長:中島八十一先生

2)第2回(参加者117名)

平成23年1月18日:アバンセホール  
「長崎県高次脳機能障害支援センターでも取り組み」

長崎こども・女性・障害者支援センター 更生相談課地域支援班 主任技師:

小無田秀幸先生(参加者 名)

「高次脳機能障害者と家族の会の活動」

高次脳機能障害者と家族の会 代表:

今井雅子先生

【主催したケース会議,勉強会,研究会,家族会,交流会等】

1)各症例毎に評価後、本人、家族、リハスタッフ、MSW、院外関係職種との話し合い(佐賀大

学医学部附属病院)

開催数 15回(参加者数91名)

2)担当弁護士と損害賠償の件で話し合い

【協力した会合】

1.平成22年度厚労科学研究費研究班プロジェクト会議・

浅見豊子(佐賀大学)、中迫正臣(佐賀大学)、

高田はるみ(佐賀県庁)参加

平成22年7月30日、福岡県吉塚合同庁舎

2.第2回高次脳機能障害『ぷらむ』佐賀研修会

平成22年9月5日:アバンセ

高次脳機能障害連絡協議会長

小南雅稔氏

(参加者 50名)

3.高次脳機能障害者による「彫刻と折り紙」展

平成22年6月18日-20日

アバンセ

(参加者 130名)

4.家族会と保健福祉事務所職員との意見交換会

平成23年1月31日

5.家族会

1回目 8名

2回目 9名

3回目 11名

【活動内容】

◇広報・啓発

・高次脳機能障害支援に関するホームページの更新

・リーフレットの配布

◇情報収集・調査

・家族会との会合

・高次脳機能障害支援事業関係職員研修会  
参加

佐賀大学医学部附属病院作業療法士:  
田口雅也

平成 22 年 6 月 30 日～7 月 2 日

:国立身体障害者リハビリテーションセン  
ター

◇診断評価・リハビリ(入院, 外来)

相談に引き続き支援拠点機関での評価・リハ  
ビリ施行

◇その他

平成 23 年 1 月 24 日朝日新聞に「高次脳機能  
障害と闘う」のテーマで記事掲載

【事業課題】

- ・支援コーディネーターの配置
- ・高次脳機能障害者・家族の支援の充実
- ・支援医療機関の充実

長崎県

【支援拠点機関名】

長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター  
障害者支援部更生相談課地域支援班(長崎  
県高次脳機能障害支援センター)

【支援コーディネーター】

井手敦郎(社会福祉士)

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計	198 件
電話	98 件
来院／来所	61 件
メール・書簡	0 件
その他(訪問・出張・同行等)	39 件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計	64 件
電話	統計区分無し
来院／来所	統計区分無し

メール・書簡 統計区分無し  
その他(訪問・出張・同行等)

統計区分無し

【主催した連絡会・協議会】

1. 第1回高次脳機能障害支援連絡協議会  
H22.9.3 長崎市 13 名
2. 第2回高次脳機能障害支援連絡協議会  
H23.3.22 長崎市 29 名

【主催した研修事業】

1. 第1回保健所高次脳機能障害者研修会  
H22.6.29 長崎市 22 名
2. 第2回保健所高次脳機能障害者研修会  
H23.3.14 長崎市 23 名
3. 長崎支援センター管内市町障害者福祉担  
当職員研修会 H22.6.29 30名
4. 佐世保支援センター管内市町障害者福祉  
担当職員研修会 H22.6.15 18名

【主催したケース会議,勉強会,研究会,家族会,  
交流会等】

保健所 神経心理学的検査、事例検討会 3 回  
地域生活定着支援センター 自立支援会議  
3 回  
通所事業参加者及び家族交流会 1 回

【協力した会合】

1. ピアサポート事業 9 回 離島1カ所を含む  
全県下 36名
2. 長崎地域リハ広域支援センター連絡会議  
及び保健所地域リハ支援体制整備事業担  
当者合同会議  
H22.10.15 長崎市 32名
3. 対馬地区相談窓口対応職員研修会  
H22.11.15 対馬市 23名
4. 県南地域高次脳機能障害支援講習会  
H22.12.20 島原市 37名

5. 上五島保健所圏域高次脳研修会(新上五島町)H23.2.4 10名

6. 上五島保健所圏域高次脳研修会(小値賀町)H23.2.5 31名

7. 時津町高次脳機能障害支援学習会(時津町)H23.2.7 13名

8. 佐世保市保健所高次脳機能障害研修会  
H23.2.16 102名

9. 佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション  
講習会 H23.1.18 117名

#### 【活動内容】

##### ◇ 広報・啓発

- ・H22年9月(4回) テレビ長崎  
「週刊 健康マガジン」
- ・H22年9月 県全世帯広報誌  
「県民だより 長崎ライフ」
- ・H23年1月 FM長崎  
「サテデーチャットボックス」
- ・H23年2月 テレビ長崎  
「元気けん！ながさき」
- ・H23年2月 県広報誌「情報広場」シン  
ポジウムPR

##### 情報収集・調査

・高次脳機能障害就労調査に委員・調査員派遣

##### ◇ 診断評価・リハビリ(入院, 外来)

・所リハビリテーション事業実施(対象5人 週2日各3時間)

年間計48回実施

#### 【事業課題】

資源マップ(医療機関一覧)の改訂

回復期リハスタッフとの連携強化

## 熊本県

### 【支援拠点機関名】

熊本県高次脳機能障害支援センター  
熊本大学医学部附属病院

#### 【支援コーディネーター】

田中希(精神保健福祉士)

◇当事者/家族からの直接相談のべ件数  
(平成22年4月～平成23年2月まで)

合計 270件

電話 149件

来院/来所 120件

メール・書簡 0件

その他(訪問・出張・同行等) 1件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数  
(平成22年4月～平成23年2月まで)

合計 215件

電話 189件

来院/来所 4件

メール・書簡 21件

その他(訪問・出張・同行等) 1件

#### 【主催した連絡会・協議会】

熊本県高次脳機能障害 MSW 連絡会

日程: H22年10月13日

開催場所: 熊本大学附属病院 山崎記念館

2階 参加者数: 14名

#### 【主催した研修事業】

1. 平成22年度高次脳機能障害研修会

<第1回>日程: H22年10月8日

開催場所: 山鹿生涯学習・健康センター

参加者数: 115人

<第2回>日程: H22年10月22日

開催場所: 水俣市総合体育館

参加者数: 79人

<研修会概要>

高次脳機能障害の正しい理解を促進し、高次脳機能障害者に支援を行う関係支援機関のネットワークの構築と支援体系の確立を図る



事を目的とした研修会。昨年度より行っているが、今年度は受講者が2倍以上になり幅広い団体からの参加があった。

【主催したケース会議、勉強会、研究会、家族会、交流会等】

第5回熊本大学高次脳機能セミナー

日程：H22年9月16日

開催場所：熊本大学附属病院 山崎記念館

1階研修ホール

参加者数：103名

〈研修会概要〉

講演：「認知リハビリテーションの基礎と臨床」について

昭和大学医学部精神医学教室 准教授 三村將先生

【協力した会合】

1. 熊本県高次脳機能障害検討委員会

日程：H22年4月19日、9月13日、1月31日

開催場所：熊本大学附属病院 山崎記念館、メルパルク熊本

概要：県医師会を中心に様々な職種が集まり、高次脳機能障害者への支援や研修会について話し合いを行っている。

研修会日程：H22年11月10日

研修会場：くまもと県民交流会館10階「パレアホール」

研修会概要：シンポジウム「高次脳機能障害への就労支援～熊本における現状と課題」

参加者数：270名

2. ぶらむ熊本家族会通常総会

【活動内容】

◇広報・啓発

・高次脳機能障害支援センターのホームページ作成

・研修会や会合でのパンフレット配布

◇情報収集・調査

・熊本大学附属病院神経精神科高次脳機能障害専門外来における就労状況の調査

◇診断評価・リハビリ

・「カウンセリングを通じた家族支援」、「認知行動療法を用いたリハビリ支援」の試み

◇その他

・就労支援に向けたネットワークの強化(就労支援事業所との情報交換等)

・第34回 日本高次脳機能障害学会発表

「高次脳機能障害患者の精神症状と介護者負担について」

発表者：本田和揮

「高次脳機能障害者家族における心理過程に関する質的研究」

発表者：一美奈緒子

【事業課題】

高次脳機能障害の診断やリハビリを行っている医療機関とのネットワークの強化

## 大分県

【支援拠点機関名】

別府リハビリテーションセンター(内)

大分県高次脳機能障がい支援拠点機関

【支援コーディネーター】

佐藤博文(社会福祉士)

◇当事者／家族からの直接相談のべ件数

合計 217件

電話 135件

来院／来所 52件

メール・書簡 3件

その他(訪問・出張・同行等) 27件

◇機関・施設等からの間接相談のべ件数

合計 130件

電話 108 件  
 来院／来所 12 件  
 メール・書簡 0 件  
 その他(訪問・出張・同行等) 10 件

【主催した研修事業】

- 1) 市民公開講座「脳のはたらきと障がいについて」, 10 月 23 日(土), 当センター, 市民向けの高次脳に関する講座 講師センター長 本田昇司, 70 名
- 2) 高次脳機能障がい支援者養成研修会, 11 月 5 日(金), 大分県総合福祉会館, 基礎講義、2 事例の報告、シンポジウム形式で意見交換, 165 名
- 3) 高次脳機能障がい専門職員養成研修会, 3 月 4 日(金), 大分県こころとからだの支援センター, 講演 2 例(武居先生、岡崎先生)家族会からの報告 1 例

【主催したケース会議, 勉強会, 研究会, 家族会, 交流会等】

- 1) ふれあいフェスタ 2010, 別府リハビリセンター, 4 月 4 日(日), 当センター, 3000 人規模のお祭りの中で高次脳のブースを設けて啓発を行った(322 名)
- 2) <にじ>の家族教室①, 当センター, 7 月 17 日(土), 別府リハビリセンター, 高次脳機能障がいの基礎について講義、グループワーク, 8 家族 14 名
- 3) 個別支援会議, 当センター, 8 月 27 日(金), 佐伯市立昭和中学校, 教育及び生活の指導や対応についての情報交換
- 4) <にじ>の家族教室②, 別府リハビリセンター, 高次脳機能障がいとリハビリについて講義とグループワーク, 10 月 9 日(土), 6 家族 10 名

- 5) <にじ>の家族教室③, 別府リハビリセンター, 高次脳機能障がい者に対する家庭での対応と今後の方向性について講義と演習, 1 月 22 日(土), 6 家族 10 名
- 6) 1 月 11 日, 臼杵医師会立コスモス介護支援センター勉強会 2 名, 拠点の説明とセンター視察, 高次脳の理解について
- 7) 2 月 4 日, 復職に向けた調整, 本人、職場の方 6 名への調整会議
- 8) 3 月 17 日, 継続した就労についての調整, 本人、職場の方 2 名

【協力した会合】

- 1) 高次脳機能障がい連絡協議会, 高次脳機能障がい連絡協議会, 4 月 17 日(土) 大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス 2F), 「笑い太鼓」大場氏による講演・家族会との意見交換他。120 名
- 2) 社会復帰対策連絡会議(ネットワーク会議), 大分市保健所, 6 月 1 日(火), 大分市保健所内, 精神障がいの方々に関係する医療福祉等の機関が集まり情報交換および社会資源の研修。50 名
- 3) 竹工芸訓練支援センター(介護福祉士養成講義 1), 大分県竹工芸訓練支援センター, 6 月 15 日(火), 講義の実施 30 名
- 4) 豊後大野市地域包括支援センター研修会, 豊肥地区保健所, 6 月 16 日(水), 豊後大野市農業改善センター, 研修会にて情報交換 50 名
- 5) 大分県臨床心理士会スクールカウンセラー部会研修会, 大分県臨床心理士会スクールカウンセラー部会, 6 月 20 日(日), 研修会講義 45 名

- 6) 竹工芸訓練支援センター(介護福祉士養成講義 2), 大分県竹工芸訓練支援センター, 6月22日(火), 講義の実施 30名
- 7) 清流の郷(生活介護施設)研修会, 清流の郷, 6月22日(火), 清流の郷(佐伯市), 高次脳機能障がい基礎研修の講義 48名
- 8) 日田市社会福祉協議会研修会, 日田市社会福祉協議会, 7月16日(金), 大山町社会福祉協議会, 高次脳機能障がい基礎研修の講義
- 9) 高次脳機能障害の理解, 福岡翼の会, 7月18日(日), 明治安田生命ホール, 出席
- 10) 九州ブロック高次脳機能障害支援コーディネーター会議, 九州沖縄ブロック, 7月30日(金), 会議出席
- 11) 大分県特別支援教育コーディネーター会議, 大分県教育委員会, 8月5日, 講演および意見交換
- 12) 大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会, 大分県高次脳機能障害連絡協議会, 8月29日(日), 研修参加
- 13) 別府市精神保健福祉ネットワーク会議, 東部保健所, 9月3日(金), 会議参加 40名
- 14) 高次脳機能障がいについての研修会, 身体障害者療護施設ひばり〜ヒルズ, 9月9日(木), 研修参加
- 15) 竹工芸訓練支援センター(介護福祉士養成講義 3), 大分県竹工芸訓練支援センター, 9月10日(金), 講義の実施 30名
- 16) 公開介護教室, 大分県社会福祉介護研修センター, 9月18日(土), 高次脳機能障がい相談コーナーの設置 4名
- 17) 精神保健福祉ネットワーク会議, 東部保健所, 10月4日(月), 会議参加 60名
- 18) 生活訓練に関する大分市役所、別府市役所合同、高次脳マニュアル作成検討会議, 大分市、別府市、当センター, 10月7日(木), 会議運営 6名
- 19) 職員研修会『高次脳機能障がいの理解について』, 介護保健施設しおはま, 10月14日(木), 講義の実施 40名
- 20) 『高次脳機能障がいの理解について』, 清流の郷(生活介護施設), 10月15日(金), 個別支援会議と研修会 40名
- 21) 宇佐市・精神保健福祉に関する職員を対象にした研修会, 宇佐市相談支援事業所, 10月28日(木), 講義の実施 30名
- 22) 精神保健福祉ネットワーク会議, 東部保健所, 11月16日(火), 会議参加30名
- 23) センター内部研修「脳の解剖整理に関する研修会」, 1月20日(木), 研修参加70名
- 24) ところとからだの相談支援センター(大分県), 2月10日(木), 研修講師として参加 20名
- 25) 中島恵子先生をお招きしてのセンター内部研修, 2月26日(土) 30名
- 26) 杵築市山香病院院内研修「高次脳機能障がいの理解」, 3月2日(水)講師としてセンター長参加, 70名

**【活動内容】**

◇広報・啓発

県内 72 箇所の病院、障害者施設、相談支援機関に個別訪問を実施

県内の保健所7箇所全てに啓発活動を実施

◇診断評価・リハビリ(入院, 外来)

新規外来リハビリ開始数:65名

23名の方に外来にて評価診断を実施

大分県

**【支援拠点機関名】**

諏訪の杜病院

**【支援コーディネーター】**

浅倉恵子(作業療法士)

**◇当事者／家族からの直接相談のべ件数**

合計	363 件
電話	40 件
来院／来所	303 件
メール・書簡	0 件
その他(訪問・出張・同行等)	20 件

**◇機関・施設等からの間接相談のべ件数**

合計	66 件
電話	54 件
来院／来所	7 件
メール・書簡	0 件
その他(訪問・出張・同行等)	5 件

**【主催した連絡会・協議会】**

1) 第 14 回 大分県高次脳機能障がい支援拠点会議

主催者 別府リハビリテーションセンター、諏訪の杜病院

日程 7 月 27 日 17:30～18:30

場所 諏訪の杜病院

参加者 8 名

2) 第 15 回 大分県高次脳機能障がい支援拠点会議

主催者 同上

日程 8 月 31 日 17:30～18:30

場所 別府リハビリテーションセンター

参加者 10 名

3) 第 16 回 大分県高次脳機能障がい支援拠点会議

主催者 同上

日程 12 月 20 日 18:15～19:15

場所 諏訪の杜病院

参加者 9 名

4) 第 5 回 大分県高次脳機能障がい者相談支援体制連携調整委員会

主催者 同上

日程 3 月 11 日

場所 大分県 ころとからだの相談支援センター

参加者 14 名

**【主催した研修事業】**

1) 大分県高次脳機能障害連絡協議会 平成 22 年度総会

演題名 「家族会そして笑い太鼓の活動」

講師 大場 佐津子様 (工房 笑い太鼓 副代表)

日程 4 月 17 日

場所 大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス

参加者 22 名

2) 第 11 回 大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会

演題名① 「子どもの脳損傷と高次脳機能障害」

講師 栗原 まな先生 (神奈川リハビリテーション病院)

演題名② 「社会的行動障害を中心とした高次脳機能障害への対応」

講師 阿部 順子先生 (岐阜医療科学大学)

日程 8 月 29 日

場所 別府ビーコンプラザ

参加者 272 名

3) 平成 22 年度 高次脳機能障がい支援者養成研修会

演題名 「高次脳機能障害についての概要」

講師 武居 光雄 (諏訪の杜病院 院長)

日程 11 月 5 日